



入中だより

令和6年6月28日(金)
No.7 熊野市立入鹿中学校
<http://www.kumano-city.ed.jp/jsiruka/>

★入鹿中学校区人権フォーラム 6/21(金)

鈴木美玲さん(矢渕中養護教諭)の講話 テーマ「命の大切さ」

鈴木美玲さん(矢渕中)は助産師の経験を持つ養護教諭です。講話では「命の大切さ」と題して4つのキセキ①受精卵になったこと②子宮内で育ったこと③無事に生まれたこと④外の世界で生きていけるようにカラダが適応できたことについて講話することで、子どもたち一人ひとりが奇跡の存在であることを分かりやすく伝えてくださいました。一人ひとりがオリジナルの存在、繋がり合う大切さ、愛護、育児をしてもらったおかげで健やかに成長できたこと、決して孤立孤独に生きてきたわけではなく人の支え等があって、心もカラダも成長してきたことなどを丁寧に話してくださいました。

講話後の座談会では、生徒全員が美玲さんに質問していました。生徒の真摯に学習に取り組む姿勢が感じられるとともに、一人ひとりがこの講話内容をしっかり聞き命の誕生の尊さと一人ひとりがかけがえのない存在であることを理解し学んだと感じています。

美玲さんは講演後、「みんなが私の目をしっかり見て聞いてくれました」と子どもたちをととても褒めてくださいました。そして「講話をさせていただいて感謝しています。私自身の励みになりました」と話してくださいました。



子どもたちの感想より

「オリジナルでオンリーワン」っていう言葉を忘れないようにしたい

「存在自体が命」っていう言葉がすごく心に響きました

自分の命も他人の命も大切にしていきたい



人権学習は、学校の土台であると思っています。例えば、すごく勉強してとても賢くなることができたとしても、自分自身を大切な存在であると思えない、友だちや仲間のことを大切な存在であると感じない人生は寂しいですね。例えば、いじめがある教室や学校で、「しっかり勉強しなさい」と言われてもできませんよね。例えば、差別がある社会で、「差別されても頑張って生きなさい」と言われても、生きにくいですね。自他を尊重する子ども、差別もいじめも許さない子どもを、学校・家庭・地域が協働し育てなければなりません。

あっくんの人権の目 No.1 (このコーナーは人権教育の経験豊かな村松篤盛教頭先生のコーナーです)

入鹿中学校の職員慶弔既定には、次のような内容がありました。「職員が結婚した場合には、△万円の祝金を贈ることとする」「職員が出産した場合、あるいは職員の妻が出産した場合には□万円の祝金を贈ることとする」入鹿中学校では、本年度4月この既定を削除し、お祝いは、したい人が個人でおこなうことにしました。みなさん、なぜだと思いますか？

結婚や出産はおめでたいことですし、お祝いする気持ちを持つことは大切なことです。しかし、多様な生き方を大切にしている今の時代、結婚や出産することだけが素晴らしいのではなくて、シングルで生きること、子どもを持たない生き方も尊重されるべきです。いろいろな理由で、結婚や出産をしたくてもできない人もいます。結婚や出産する人だけが恩恵を受けること自体がナンセンスです。私たちはこの視点を持っていないと、決めつけや偏見で人と接してしまい、知らず知らずのうちに相手を傷つけることもあります。今までの常識にとらわれず、少数派の思いにも耳を傾ける視点を大事にしたいですね。

★放課後の文化活動



放課後の文化活動は、多彩な文化芸術活動をおこなう場です。楠先生が中心になって子どもたちの興味関心、ペースに合わせて日々活動しています。

写真はビーズ細工に取り組む様子です。本校事務職員の山本佳奈さんが得意であることから、生徒のためになるならという想いで、忙しい仕事の合間に優しく指導してくださっています。

日	曜	行事予定
7/1	月	丸山千枚田草抜き
2	火	3年生実力テスト ALT
3	水	プール
4	木	太鼓練習 プール ALT
6	土	地区中体連団体戦
7	日	地区中体連個人戦
8	月	千枚田草抜き予備日
10	水	プール ダンス
11	木	授業公開 個別懇談 ALT 太鼓練習 プール
12	金	授業公開 個別懇談
16	火	防犯・交通安全教室
18	木	太鼓練習 給食最終日 4限短縮授業
19	金	終業式
22	月	野外活動

* 予定変更する場合があります。その際は通信やまちコミでご連絡いたします。